



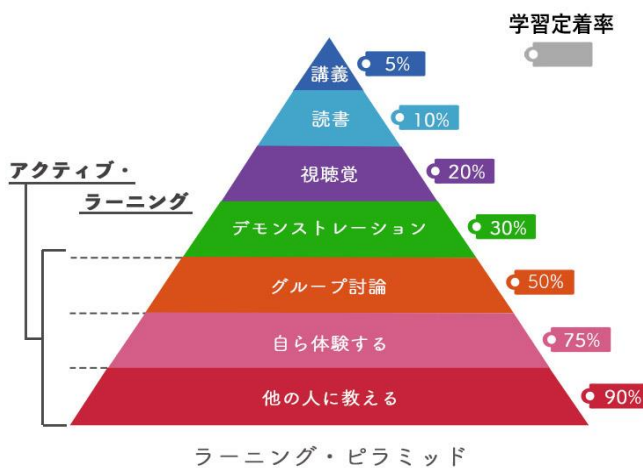
学びの秋 ～学習の定着率を上げるには～

「小さい秋 見つける前に 冬が来た」これは今年の気候を詠んだ一句です。今年は少しずつ秋めいていくというよりも、残暑から一気に冬の寒さを感じるようになってしまいました。先日ノミネートされた今年の流行語大賞の候補に「命を守る行動を」というのが含まれています。“異常気象”がもはや“異常”ではなく繰り返されるようになり「今までは大丈夫だった」が通用しないような大きな災害が続いています。命を落とされた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された地域の一日も早い復興を願うばかりです。また、“まさか”に備える行動をとれるように心がけていきたいものです。

10月23日によこすか芸術劇場で行われた文化発表会ステージの部では、多くの保護者の皆様にご来場いただきありがとうございました。24日～31日の展示の部と合わせて、生徒たちの日頃の取組の成果が良い形で発表できていたのではないかと思います。合唱では、やはり学年が上がるにつれ曲の完成度が高まり、声量・バランス・曲想など細かな部分まで意識した歌声が作り出されていました。特に、最上級生としての3年生は後輩たちに良き範を示していたと思います。1, 2年生は上級生の良き面を参考にして、今年度の取組からの気づきを来年にぜひつなげていって欲しいと思います。

文化発表会を終えて、全校参加の大きな行事が一区切りとなりました。これからは自分の生き方に目を向けるべく、学年ごとの進路学習が中心となります。3年生は高校見学や三者面談を通して卒業後の進路選択を具体的に進めていくこととなります。2年生は職場体験、1年生は職業講話に向けての準備が進んでいます。将来を見つめ、自分を見つめ、今何をやらなければならないのかをしっかりと考える良い機会として欲しいと思います。

進路を考えるにあたって、やはり基本となるのは日々の学習です。なかなか時間をかける割に学習内容が定着しないや悩んでいる人もいることと思いますが、定着率を上げる学習方法を表すものとして、アメリカ国立訓練研究所という機関が発表した図のような「ラーニング・ピラミッド」というものがあります。具体的には7種類の異なった学習方法・学習活動で学んだ半年後にどのくらいの割合で学習が定着しているかを調べたものです。図からは



- ・「講義を受ける」ではわずか5%
- ・「読書（教科書や資料集を読む）」では10%
- ・「視聴覚（ビデオや音声による学習）」では20%
- ・「デモンストレーション（実演をみる）」では30%
- ・「グループ討議（他者と話し合う、議論する）」では50%
- ・「自ら体験する（実践による体験、練習）」では75%
- ・「他の人に教える」では90%

の定着率となることがわかります。じっと座って講義をうけたり、教科書を読んだりする受け身の学習では半年後には忘れてしまう傾向があり、話し合ったり、実際にやってみたりする主体的な学習になる

ほどしっかりと覚えていることがわかります。最近、教育界では「アクティブラーニング」という言葉がよく聞かれます。「アクティブラーニング」とは生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現するために共有すべき授業改善の視点として位置付けられており、図でいうと下の三つの段の学習方法・学習活動がこれにあたります。学びについては生徒が学ぶだけではなく、教える側の教員も講義中心だけではなく指導方法を工夫していく学ぶ姿勢を持っていなければいけません。11月は授業研究月間として、テーマを決めて互いの授業を見学し合い、授業力向上に結びつける取組を行っています。今年度は「じっくり考え、高め合い、次につながる確かな学び」のある授業づくりをテーマとしています。ラーニング・ピラミッドでは「他の人に教える」の学習定着率が90%となっていますが、生徒同士の学び合い、教科の枠を超えた教員同士の学び合い、そして生徒と教員とのやり取りの中で互いに学び合う集団を形成していくことができるよう、工夫しながら取組を続けていきたいと思っています。

【文化発表会開催！】

A Day of Music ～努力の蕾 今、咲き誇れ～

去る10月23日に行われた文化発表会ステージの部は、文字通り音楽漬けの充実した1日でした。当日の発表は昼休み合唱団や吹奏楽部、PTA・職員コーラスだけでなくどのクラスも文字通り立派なものでした。しかしそれ以上に素晴らしいと感じたのは、そこに至るまでの一人ひとりの取組が真剣だったことです。1時間の授業の中でどんどん音楽が変わっていくのは、教えている私にとってこの上ない喜び。それだけに当日点数をつけて順位を決めなければならないのは、とてもつらいことでした。学校全体のレベルがとても高く、私の中では16クラスすべてが最優秀賞です。当日賞をもらえなかったクラスも、堂々と胸を張ってほしいと思いました。

文化発表会実行委員長 音楽科 高木澄子



【展示の部】

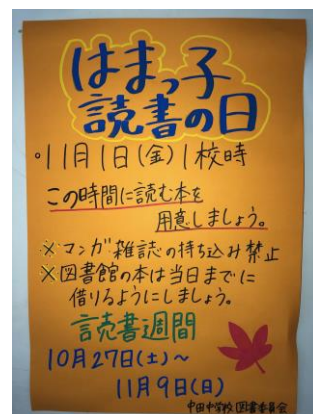
今年度の文化発表会作品展示の部は10月24日（木）～31日（木）まで、地域交流室と被服室で行われました。生徒たちは「総合的な学習の時間」を中心に見学を行いました。



☐ はまっ子読書の日 ☐

11月1日ははまっ子読書の日には、1時間目に全校で読書をしました。図書委員がポスターを作って呼びかけた効果もあって、読書週間の始まった28日には1日で50冊以上、読書の日の前日には100冊を超える貸し出しがあり、関心の高さがうかがえました。みんな自分が選んだ本を熱心に読んでいましたね。この日だけにとどまらず、これからもいろいろな本にたくさん触れてみてください。図書館にも、新しい本がたくさん届いていますよ。

学校図書館司書 田中麻紀子



進路を考える

その昔、織田信長は本能寺で明智光秀に襲撃された際に「人間五十年、下天の内をくらぶれば、夢まぼろしのごとくなり」と舞ったといわれています。当時の寿命は50歳くらいでした。

そして今、人生100年と言われるようになりました。定年の延長や廃止、年金受給年齢の引き上げなども議論されていて、いくつまで働かなくてはいけないのか先行きが見えません。

また、少子高齢化が進み労働人口の減少やAIの進歩により職種の減少が予測されます。10年前にはなかった職業が生まれ、今ある職業が10年後にはなくなっているかもしれません。

例えば、スマホが登場して10年です。10年前にはスマホのアプリを作る人はいませんでした。ユーチューバーやeスポーツ選手もここ数年に登場した職業です。逆に新聞、書籍、CD、DVDなどの販売店はネット配信が進めばなくなってしまう可能性が高いです。

そんな時代を生きていくために必要なものは何でしょう。いろいろな考え方ができる柔軟性、他者とのコミュニケーション能力、新しいものへの好奇心、そして創造力などが考えられます。

先が見通せない時代だからこそ、今身につけておきたい力を考え、進路選択につなげてほしいと思います。

進路選択とは中学卒業後の進路に限らず、人生そのものの選択です。高校入試がゴールのように考える人がいますが、それは通過点にすぎません。同じ目的地にたどり着くのに複数のルートがあるように、進路も一つではありません。目先のことにとらわれず、10年、20年先を見て進路を考えてください。

自分の人生の中では自分が主人公です。自分の生き方を他人のせいにはしないでください。保護者とよく話し合っ、お互いが納得できる進路選択をしてほしいと願います。

(第1回進路説明会資料より)

進路主任 中島浩昭

11月・12月の行事予定

11月			12月		
16	土		1	日	
17	日		2	月	朝会(生徒会役員認証式)
18	月	後期中間テスト2日目 中央委員会 12:00	3	火	個人面談①
19	火	個別支援学級:区合同宿泊学習(愛川ふれあいの村)	4	水	個人面談②
20	水	↓	5	木	個人面談③ 3年:卒業アルバム写真撮影
21	木		6	金	個人面談④
22	金	2年 1日職場体験	7	土	
23	土	PTA3校ふれあいコンサート(中田小)吹奏楽部	8	日	
24	日		9	月	専門委員会 15:30 公開授業週間
25	月		10	火	中央委員会 15:30
26	火	生徒人権講演会(5、6校時)	11	水	
27	水	放課後キッズ打ち合わせ 15:40	12	木	
28	木	避難訓練(6校時)立ち会い演説会リハーサル ⑥11月振り返りを含む	13	金	学活:1,2年健康教育(飲酒・喫煙・薬物) 3年私立推薦生徒校長面接①
29	金	⑤⑥生徒会役員選挙立ち会い演説会・投票	14	土	
30	土	放課後キッズボランティア(東中田小)	15	日	